

大学の世界展開力強化事業 取組概要 京都大学

【構想の名称】(選定年度24年度・申請区分(I))

「人間の安全保障」開発を目指した日アセアン双方向人材育成プログラムの構築

【プログラムの目的・養成する人材像】

アジア地域での地球温暖化や大規模災害等の地球規模の課題に対して、実効性のある対策の研究や開発が可能な人材を育成することで、今後、地球規模で生じてくと予測される諸問題の解決に資する。

【構想の概要】

従来の学術領域を有機的に接合し、アジアで生じると予測される地球規模の諸問題の解決に関する教育を行う。ASEAN大学連合(AUN)と連携してコンソーシアムを形成し、サマースクール、交換留学、ダブルディグリープログラムからなる多層的な交流プログラムを実施する。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

〈タイ・インタノン山地林での実習風景〉

① 単位の相互認定を伴う交換留学の実施

「人間の安全保障」共通基礎科目と、環境・エネルギー、食糧・水、パブリックヘルスなど多様な専門科目で構成される単位互換可能な修士課程向け講義群の開発を行う。

② ダブルディグリープログラムの実施

AUNに加盟している大学の中で、実施に向けた合意が整った大学との間で、修士課程のダブルディグリープログラムを実施する。

③ サマースクールの実施

修士課程での交換留学やダブルディグリープログラムへの参加を促進することを目的として、学部生向けのサマースクールを開催する。平成24年度は、タイ・キングモンクット工科大学及びチェンマイ大学(2月28日～3月12日)と、同カセサート大学(3月11日～3月24日)で実施し、合計30名の学部学生を派遣した。



■ 交流プログラムの内容、今後の開始に向けた準備状況

(コンソーシアム設立会議での協定書締結)



① 交換留学プログラムについて

AUN加盟大学との間で、修士課程を中心に単位相互認定を行う交換留学やダブルディグリープログラムを展開する。

② プログラムの開始に向けた準備状況

AUNの間では、既に包括的な交流協定を締結しており、その枠組みを活用して「人間の安全保障開発」をテーマとした国際シンポジウムを開催するなどして、構想の実施に向けた協力体制を整えている。平成24年度は、ダブルディグリープログラム実施予定の個々の大学との協議を行うと同時に、コンソーシアム設立会議での全体協議を行い、協働事業実施に関する協定書を締結した。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

① 日本人学生の派遣

AUN加盟大学が開催するサマースクールに学生を派遣し、その参加者を中心に、交換留学やダブルディグリープログラムによる留学希望者を募る。平成25年度は、8月にインドネシア・ガジャマダ大学におけるサマースクールに学生を派遣する。

② 外国人留学生の受入れ

サマースクールを開催し、AUN加盟大学から参加者を受け入れる。そのプログラムに参加した学生を中心に、交換留学やダブルディグリープログラムでの留学希望者を募る。平成25年度は、5月、12月にサマースクールを開催し留学生を受け入れる。

	H24	H25	H26	H27	H28
学生の派遣	30	30	43	51	56
学生の受入	0	30	53	61	61

注)H24は実績、H25以降は計画

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

① 学生の海外留学を促進するための環境整備

派遣先となる大学の情報を提供するウェブサイトを開設し、十分な情報提供を行うことで、適切な時期に留学準備を開始できるようにする。また、学生のニーズに合った留学先の開拓を進めているほか、学内での留学説明会を継続的に開催している。

② 留学生の受入を促進するための環境整備

京都大学側の各専攻に関する情報を提供するウェブサイトを開設し、関係大学に対し、プログラムの内容、シラバス、単位の認定方法などの十分な情報提供を行う。このほか、留学生に対する相談体制や宿舎への入居を支援する体制など、既に整備されている仕組みを活用する。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

① 情報提供サイトの開設

本構想の全容が分かるウェブサイトを開設し、教育内容、アカデミックカレンダー、学生募集など各種の関連情報を広く提供する。また、その情報に準じたパンフレットを作成し、広く頒布することで、成果を広く普及させる。

URL:<http://www.hsd.cpier.kyoto-u.ac.jp/ja/index.html>